

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
AM12Z301		早期体験実習 (Introduction to Clinical Practice) *大分を創る科目(Oita Development Course)					導入教育科目 福祉・地域		対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	1	1	医学部先進医療科学科	前期	他	日本語			単独						
担当 教員	氏名 穴井 博文														
	E-mail anaiana@oita-u.ac.jp 内線 5145														
授業の概要	最新の医療科学の知識と技術・技能を領域横断的に学修した融合人材を育成するための初期段階として行う早期医療体験実習である。臨床現場に入り、見学・研修を行うことで、実際の医療における医療研究者の立場と役割を理解し、学生生活の早い段階から将来像とキャリアパスを描くことを目標とする。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 患者本位の医療を理解し説明できる															
目標2 患者と医療従事者との関係を理解し説明できる															
目標3 チーム医療を理解し説明できる															
目標4 医療と医療研究者の関係について理解し説明できる															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
							各DPへの関連度(計10)			2	2	2	2	2	
授業の内容															
1	大分大学医学部付属病院早期体験実習：検査部、ME機器センター（安全対策・感染対策・患者急変時の対応含む）														
2	大分大学医学部付属病院早期体験実習：血液浄化センター、手術部														
3	大分大学医学部付属病院早期体験実習：集中治療部、高度救命救急センター														
4	大分大学医学部付属病院早期体験実習：薬剤部、材料部														
5	体験発表会														
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラ ア ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認		口頭試問、体験発表会			工 夫 そ の 他 の	医師ほかの医療従事者からの直接指導、コミュニケーションにより、医療研究者として活動することがどのような存在であるのか理解する。								
	B:意見の表現・交換		レポートのまとめ												
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修		オリエンテーション内容確認、大学病院の基本理念の予習(15h)。												
	事後学修		実習体験内容の共有、発表会準備、レポート作成(15h)。												
	想定時間合計		30												
教科書	教科書は指定しない														
参考書	参考書は指定しない														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	レポート	40%										
	口頭試問	30%										
	体験発表会	30%										
注意事項	大分大学医学部学生という自覚の下に、各施設の業務の支障とならない様に指示に従う(1)実習中の患者・入所者の情報を、決して口外しない(守秘義務)(2)時間厳守(5分前集合)(3)実習時は、仲間同士の私語及び不用意な発言は慎む											
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の実務 経験	心臓血管外科医、心臓・大血管手術											
実務経験を いかした教 育内容	臨床現場説明											